○　新たな施策の要望又は提案を求めるもの

<table>
<tr><td>区分</td><td colspan="4">■ 新　規　　□ 再提案　（　・　・　第　　回総会；　　市）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">種類</td><td colspan="3">□ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの
■ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの
□ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの
□ その他（　　）</td><td>分野</td><td>□ 総務文教
■ 社会環境
□ 経済
□ 危機管理建設</td></tr>
<tr><td rowspan="3">要望先</td><td>□ 国</td><td>担当省庁</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>■ 県</td><td>担当部局</td><td colspan="2">健康福祉部　保健・疾病対策課</td></tr>
<tr><td>□ その他</td><td>名　　称</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>件名</td><td colspan="4">12　骨髄等移植ドナーに係る支援制度の創設及びドナー登録等の推進について</td></tr>
<tr><td>提案市</td><td colspan="4">諏訪市</td></tr>
<tr><td>提案要旨</td><td colspan="4">骨髄等移植ドナーの休暇取得を支援するため、県が主体となりドナーと事業所等への支援制度の創設と、あわせてドナー登録の推進及び骨髄等提供体制の促進を図るよう要望する。</td></tr>
<tr><td>提案理由</td><td colspan="4">白血病等の難治性血液疾患に有効な治療法である骨髄・末梢血管細胞（以下「骨髄等」という。）移植は、ボランティアであるドナーの善意によって支えられている。
骨髄等の提供には検査等のために１週間程度の入通院が必要となるが、休暇制度のない企業等に勤めるドナーや職場の理解がない場合には提供が難しくなるため、提供体制を支援する施策が必要である。
また、長野県は登録者の割合が都道府県の中で最も低いため、登録者を増やす対策が求められている。</td></tr>
<tr><td>現況及び課題等</td><td colspan="4">現在、日本骨髄バンクにドナー登録している人は、全国で約48万人を超え、移植を待つ患者の95％は適合するドナーが見つかる状況ではあるが、実際に移植に至るケースは、患者の６割程度にとどまっている。
適合するドナーであっても、仕事を休むことへの気兼ねや企業等の負担、骨髄等採取への不安などが原因となり、移植に至らないケースがある。
長野県では、平成27年度から登録会の開催を増やすなどしてドナー登録者が増えてきているが、対象人口当たりの登録者数は全国最下位（4.67人／千人）である。
当市では、ドナー登録者の拡大と骨髄等の提供率向上のため、ドナーと企業等への支援制度の実施を検討しているが、県的な取り組みが必要であると考える。</td></tr>
<tr><td>関係法令</td><td colspan="4">移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律（平成24年法律第90号）</td></tr>
</table>